

今年のぎおん柏崎まつり海の大花火大会は日曜日開催 —見どころとリニューアルポイントをご紹介

7月26日(日曜日)に、ぎおん柏崎まつり海の大花火大会を開催します。柏崎でしかみられない、日本一の海花火をお楽しみください。

1 花火の見どころ

- (1) 2回も行う尺玉100発一斉打ち上げや昨年復活した三尺玉2発同時打ち上げは、最高のインパクトを一瞬で味わえる日本唯一のぜいたくな花火です。フィナーレを締めくくる怒涛の尺玉300連発も圧巻です。
- (2) 協賛者の熱い思いが結集した今年のスターメインは、例年に比べて規模を拡大。豪華絢爛に咲き乱れます。
- (3) 市民協賛による柏崎市民一同は、有料観覧席利用者に配布するスティックライトが生み出す光の海とのコラボレーション演出で、新たな感動を味わえます。



過去の花火の様子

2 公式ホームページ、パンフレットをリニューアル、SNSも新たに開設

一般社団法人柏崎観光協会が事務局に加わり、取材型インターンシップ(※)による協賛企業紹介など、新しいかたちで柏崎の花火を全国にPRします。
※学生が記者として企業などに取材を行い、情報発信を行うプログラム。



公式ホームページ トップ画面

3 郊外地域花火を新しい運営方式に変更

これまで、7月25日に開催していた郊外5地域花火を、日時や内容をリニューアルして打ち上げます。

- (1) 日時 令和8(2026)年7月12日(日曜日)午後8時~8時15分
今年から八坂神社 祇園祭・例大祭の日で開催します。
- (2) 場所
 - ア 米山地域：笠島漁港
 - イ 高柳地域：高柳スキー場
 - ウ 西山地域：西山自然体験交流施設ゆうぎ多目的広場

(3) 黒姫地域、北条地域は、令和 9（2027）年度の開催予定です。各会場が隔年開催になりますが、花火の規模が倍増します。

4 花火大会後の BGM に名曲「浜千鳥」を使用

童謡「浜千鳥」は、鹿島鳴秋が作詞し、弘田竜太郎が作曲した日本の代表的な抒情歌しじょうかです。鳴秋が柏崎の旧友を訪ねた際、裏浜から番神海岸を散策しながら見た初夏の海の情景が歌の題材になったと伝えられています。市にゆかりのあるこの名曲を花火大会の最後を飾る BGM として使用します。



浜千鳥の碑